

眼科

1. 概要

外来患者数は1日約120～150人（特殊検査・外来治療含む）で、初診が1～2割を占める。常勤5人、非常勤1人、常時5人で外来を担当している。うち5人は日本眼科学会認定専門医である。積極的に逆紹介を行っており、外来患者数は前年と比較して横ばいであるが、緊急手術等が必要な重症例が増加し一人当たりの患者にかかる時間が増加している。また、抗VEGF抗体硝子体注射の適応疾患拡大に伴い、注射件数が大幅に増加していることも外来業務を圧迫している。非常に待ち時間が長い状態が続いており、さらに逆紹介を増やす必要がある。

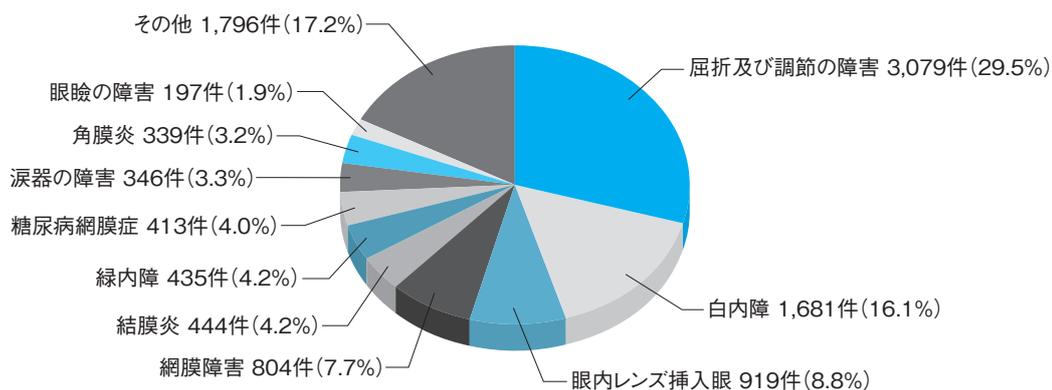
年間の手術室を使用した手術件数は約1,200件で、昨年よりも約200件増加している。白内障手術時、適応症例に乱視矯正用のトーリック眼内レンズの使用が進んだ。25G&27G硝子体手術システムにより手術時間短縮、手術件数の増加になった。緑内障手術時、適応症例にインプラント挿入術の使用が進んだ。

大学病院等とも連携し最良の治療が提供できるようにしている。

（部長 西原 裕晶）

●疾患別頻度

総件数：10,453件



(1) 入院患者

入院時疾患名	(人)
白内障	534
網膜剥離	87
糖尿病網膜症	59
黄斑上膜	35
緑内障	33
硝子体出血・混濁	28
黄斑円孔	28
硝子体脱出	12
角膜潰瘍・角膜炎	8
硝子体黄斑牽引症候群	8
網膜下出血	6
視神経症	6
外傷・眼球破裂	5
眼内異物	4
内反症	4
角膜穿孔	4
斜視	3
眼内炎	2
水晶体偏位	2
増殖硝子体網膜症	2
黄斑変性	1
眼内レンズ脱臼	1
急性網膜壊死	1
結膜癬痕	1
眼窩蜂窩織炎	1
結膜腫瘤	1
無水晶体眼	1
網膜動脈閉塞症	1
計	878

(2) 手術数

①外来手術数

手術名	(件)
硝子体注射・テノン嚢下注射	469
網膜光凝固術(PhC)	397
レーザー後発白内障切開術(YAG)	85
レーザー虹彩切開術(LI)	29
涙点プラグ挿入	7
レーザー線維柱帯形成術(LTP/SLT)	6
霰粒腫摘出術	4
計	997

②外来特殊検査件数

検査名	(件)
光干渉断層撮影(OCT)	6,881
動的量的視野検査	1,241
静的量的視野検査	885
蛍光眼底撮影	621
眼鏡処方	384
計	10,012

③手術センター手術数

手術名	(件)
白内障手術	766
硝子体茎顕微鏡下離断術	223
眼瞼下垂症手術	62
網膜復位術	34
翼状片手術	23
内反症手術	18
濾過胞再建術	23
流出路再建術	14
硝子体切除術	11
斜視手術	9
縫着レンズ挿入	4
前房、虹彩内異物除去術	4
眼瞼腫瘤切除術	3
虹彩整復・瞳孔形成術	3
眼瞼腫瘍切除術	2
結膜嚢形成手術	2
硝子体注入・吸引術	2
増殖性硝子体網膜症手術	2
霰粒腫摘出術	2
角膜・強膜異物除去術	1
角膜・強膜縫合術	1
結膜下異物除去術	1
結膜肉芽腫摘除術	1
涙嚢瘻管閉鎖術	1
瞼縁縫合術	1
計	1,213

学会発表（医局）

<眼科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	当院における眼内レンズ強膜内固定術の手術成績	筆頭演者	西原 裕晶	NESS	2014/10/9
2	一時失明状態になった両眼性真菌性鼻性視神経症の1例	筆頭演者	稲垣 彩	第68回日本臨床眼科学会	2014/11/15
3	フルオレセイン静注後にアナフィラキシーで死亡した患者に、重篤な心疾患を認めた1例	筆頭演者	長谷川真理子	第68回日本臨床眼科学会	2014/11/15

研究会発表（医局）

<眼科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	IOL強膜内固定術	筆頭演者	西原 裕晶	東三河研究会	2014/12/18
2	ビタミンA欠乏症の治療後に錐体外節端(COST)ラインが回復した1例	筆頭演者	水野 友広	東三河研究会	2014/12/18

論文・著書 (医局)

<眼科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	肥厚性硬膜炎に伴う視神経障害の治療中に大腸癌の多発肝転移が発見された1例	筆頭著者	西原 裕晶	臨床眼科Vol.68,NO.4,2014